

みんなで ジギョケイ！

～「いつも」の力を「もしも」の力に変える～

連携事業継続力強化計画のススメ

岩手県内の事業者は津波、豪雨、大規模山林火災等の自然災害や感染症、サイバー被害など、リスクと常に隣り合わせにあります。

「自助」だけではなく、地域の仲間と手を取り合う「共助」の連携事業継続力強化計画で、あなたの大切な事業と仲間を守りませんか？

オンライン開催 | 11.10 TUE

日時

令和8年11月10日(火)
14:00-16:00

講師

中小企業基盤整備機構 東北本部
アドバイザー 岩佐 克之 氏

定員

100名(要事前申込)

対象

商店街、青年部、女性部等で地域振興活動を共に行う事業者や同業ネットワークを有する事業者等及び商工会職員

PROGRAM

- 連携事業継続力強化計画(連携ジギョケイ)とは
- 認定を受けるための策定ポイント解説
- 中小機構、県連による策定支援メニューのご案内

参加を希望する場合は10月30日までに
各商工会へお申し込みください

主催：岩手県商工会連合会

「単独」と「連携」どっちがいいの？

比較項目	単独型ジギョケイ	連携型ジギョケイ
概要	1者のみで策定ができる	複数の事業者で協力して策定
メリット	自社独自の対策ができる 内容変更の自由度が高い	単独では難しい災害対策 コスト面等でのメリット
デメリット	対策が不十分となる可能性 コスト面等負担が大きい	独自の対策は別途検討が必要 内容変更等に手間がかかる
このような 事業者におすすめ	独自の対策を取りたい 比較的組織の大きな事業者	相互扶助による対策を取りたい 比較的小規模な事業者まで 対策可能

連携ジギョケイ事例

Case 01.食品加工業 (同業者連携)

【課題】長期停電による在庫の腐敗や燃料不足。
【連携】同業者で協定を結び、在庫の相互預かりや配送網の共有化を実現。災害時でも供給を止めない体制を構築しました。

Case 02.マルシェ出店事業者 (地域連携)

【課題】開催中止に伴う事業継続、小規模事業者故のリソース不足。
【連携】グループ内での人的協力、備蓄品等の融通や情報共有を明記。地域住人の再建寄与についても盛り込みました。

認定のメリット

- 各種補助金の加点措置(新事業ものづくり補助金・持続化補助金など)
- 税制優遇(防災設備への投資促進税制)
- 金融支援(低利融資、信用保証の別枠確保)
- ロゴマークの使用(取引先からの信頼性向上)

岩手県内25商工会では、事業継続力強化計画の推進を行っています。
セミナーに限らず、BCP対策はご相談ください。